



第2次

海陽町 総合計画

概要版

平成30年3月
海陽町

総合計画 とは

総合計画とは、まちの特性を踏まえて、海陽町をどのようなまちにしてい
くのか、また、そのために何をしていくのかなど、長期的な目標と取組を明ら
かにしたものです。

計画策定の目的

社会情勢が大きく変化するなか、
多様化・複雑化する地域課題に適切
に対応するためには、ニーズをとら
えた戦略的かつ、持続可能なまちづ
くりをする必要があります。

第2次総合計画では、これまで築
いてきた施策を継承しながら、本町
への愛着と誇りを醸成し、ますます
元気なまちとなるように、住民、地域と行政が一体となってまちづくりを推進するための「まち
づくりの手引書」としての計画とします。



計画の構成と期間

総合計画の構成と期間は次のとおりです。



*実施計画は総合計画に基づき、実施すべき具体的な施策・事業の年次別の事業計画です。

基本構想

住民と行政の共通の目標として、まちづくりの方向性を基本理念と将来像によって明らかにし、それを達成するためのまちづくりの目標を設定しています。

基本計画

基本構想で定めた将来像とまちづくりの目標を受けて、その実現に必要な施策を分野別に体系化しています。

初年度 平成30(2018)年度

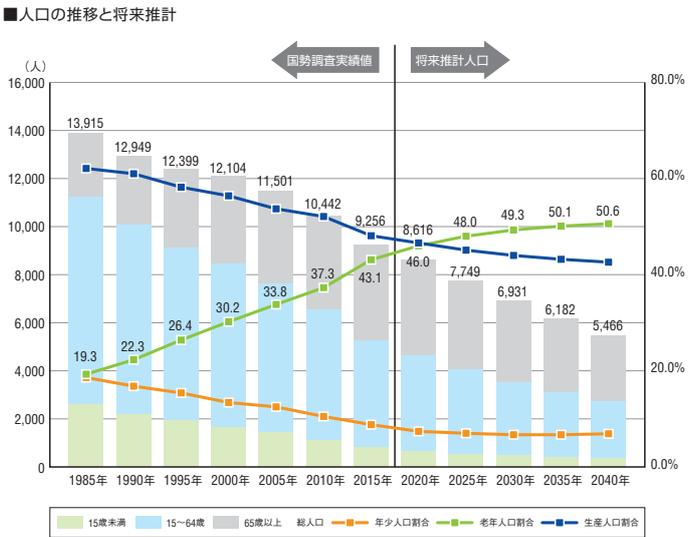


目標年次 平成39(2027)年度

海陽町のまちづくりの課題

本町の人口は減少の一途をたどり、平成27(2015)年の9,256人から、平成52(2040)年には5,466人にまで減少すると予測されています。

一方、老年人口割合(65歳以上)は平成37(2025)年には生産年齢人口割合(15～64歳)を上回り、平成47(2035)年には総人口の半分を占める見込みとなっています。



資料：海陽町人口ビジョン(総務省統計局「国勢調査」・国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計))

海陽町の強みや弱みを、社会潮流を踏まえて整理すると…

SWOT分析

<p>強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1次産業に特化したまち ● 愛着を感じる住民の多さ ● 豊かな自然環境を守れている ● 健康福祉分野、教育分野で施策の満足度が高い ● 集落ごとの結束力 	<p>弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然増減、社会増減ともに減少 ● 若い世代を中心とした転出超過 ● 災害に対する住民の不安が高い ● 高齢化による産業の担い手不足 ● 観光分野の施策の満足度が低い
<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代の子どもを持ちたいという希望が高い ● 地方創生への機運の高まり ● ライフスタイルの見直し(田園回帰) ● 幹線道路の延伸による交流の増加 ● ICTの普及 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市部への人口集中 ● 社会保障費の増加 ● 高齢化の急速な進行 ● 地方創生の本格化がもたらす市町村間での差別化 ● 人口減少による地域経済の縮小 ● 地域コミュニティのあり方の変化

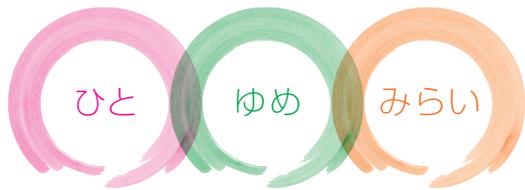
SWOT分析からみえるまちづくりの重点課題

- ①人口減少、少子高齢化への対応
- ②地域資源の活用による交流の拡大
- ③協働体制構築による住民ニーズへの対応
- ④持続可能な行財政運営、自治体間競争への対応

将来像とまちづくりのテーマ

豊かな自然、歴史・文化、人のあたたかさなど、本町の素晴らしいものが互いにつながり、そして人と人がつながることで、新しい魅力が生まれ、もっと元気で、もっと心地よい町になっていくことをめざします。

過去から現在、現在から未来へ、住民みんなで笑顔のバトンをつなぎ、誰にとっても「住み心地の良いまち」でありつづけるようにという思いを込めて、下記の将来像を掲げます。



もっとずっと
住み心地の良いまちをめざして

笑顔 つながる 海陽

◆まちづくりのテーマ

① 未来を担うひとづくり

地域力の強化を目的とした地域活動の担い手育成や、後継者不足が問題となっている一次産業を中心とした産業分野における担い手を育成します。

また、教育機関、地域、家庭と連携した本町ならではの教育の振興を図ります。

② 移住・定住地、働く場としての魅力向上

本町の強みを最大限に伸ばし、移住・定住地としての魅力を向上させるとともに、ふるさと教育の推進により、ふるさと愛を醸成し、Uターン促進につなげます。

また、本町の特性を活かした産業の魅力化・活性化を図り、多様な働き方が可能なまちづくりを進め、町内外に発信していきます。

③ だれもが安心して暮らせるまちづくり

住み慣れた町でいつまでも安心して暮らすことができるよう健康づくりを推進するとともに、協働の仕組みづくり、生活の利便性に向けた対策を検討します。

また、今後予測されている南海トラフ巨大地震の発生など、想定されるリスクを踏まえ、災害への対応・対策を強化します。

基本目標

将来像「ひと・ゆめ・みらい 笑顔つながる海陽」の全体的なイメージを持ちつつ、次の3つの基本目標のもと、まちづくりを進めます。

本町の豊かな自然をはじめとした魅力資源や、人のあたたかさ、環境とまちの気風を積極的に活かすとともに、効果的な情報発信の推進に努め、「居心地の良いまち」「訪れたいまち」「住み続けたいまち」と、幅広く町内外の人々から選ばれるまちをめざします。

はぐくむまち

方針1 安心して子どもを産み育てることができる(子育て、教育)

方針2 豊かな人間性が育まれる(生涯学習、文化・スポーツ)

方針3 思いやりとふれあいがあふれる(健康、福祉)

にぎわうまち

方針1 交流によりにぎわいが生まれる(観光、歴史)

方針2 まちに活力が生まれる(産業、雇用)

方針3 豊かな自然を次代につなげる(自然環境)

すみよいまち

方針1 安心・安全に暮らすことができる(防災、防犯)

方針2 快適な生活空間をつくる(生活基盤、交通)

方針3 住民とともに未来をつくる(協働、人権、行政経営)

人口目標

本町では、出生率の向上や転入数の増加の各種施策に取り組むことで人口減少を少しでも抑制し、計画期間の最終年となる平成39(2027)年の人口、9,000人維持を目標としています。

将来人口
9,000人維持

基本目標 1

はぐくむまち



子育て世代にとって安心して子どもを産み、のびのびとあたたかな心をもった子どもが育てられる環境を充実します。

また、住民が、その住み慣れた地域で安心して健康に、生きがいを持って暮らし続けられるよう、保健・医療・福祉の連携を図ります。

さらに、住民が意欲を持って学び続け、様々な分野で活躍できる場や機会の増加により、魅力的で活動的な人があふれる、住んでみたいと思われるまちづくりを進めます。

方針1 安心して子どもを産み育てることができる(子育て、教育)

- (1) 子どもの健やかな成長支援【子育て】 / (2) 教育環境の整備・充実【教育】

方針2 豊かな人間性が育まれる(生涯学習、文化・スポーツ)

- (1) 生涯を通じた学習の支援【生涯学習】 / (2) 文化・スポーツ活動の振興【文化・スポーツ】

方針3 思いやりとふれあいがあふれる(健康、福祉)

- (1) 健康づくり・地域医療の推進【健康】 / (2) 高齢者福祉の推進【高齢福祉】
(3) 障がい福祉の推進【障がい福祉】 / (4) 地域福祉の推進【地域福祉】

基本目標 3

すみよいまち



住民の安全・安心な暮らしの確立に向けて、防災、消防・救急体制の整備や防犯・交通安全対策を推進するとともに、住民が住み心地の良い環境整備を推進します。

また、住民と行政が一体となって、持続可能なまちづくりを展開します。

方針1 安心・安全に暮らすことができる(防災、防犯)

- (1) 災害や緊急時に強い地域社会の実現【防災】
(2) 安全な暮らしの確保【防犯・交通安全】

方針2 快適な生活空間をつくる(生活基盤、交通)

- (1) 住環境の整備【住環境】 / (2) 交通環境の整備【交通】
(3) 地域情報化の推進【通信】

方針3 住民とともに未来をつくる(協働、人権、行政経営)

- (1) 住民と行政による協働のまちづくり【協働】 / (2) 人権が尊重され差別のない社会の実現【人権】
(3) 男女が共に活躍できる社会の実現【男女参画】 / (4) 健全な行財政運営【行財政】

基本目標 2

にぎわうまち



豊かな自然や地域文化、近年取り組みをはじめているサーフィン事業を活かしたまちの交流促進を図るとともに、最新技術を活用した一次産業や商工業の振興を図り、本町の魅力・特性を活かした産業の活性化に取り組みます。

また、豊かな自然環境を次代に残すため、環境保護などに配慮した取り組みを推進し、安らぎのある環境づくりを進めます。

方針1 交流によりにぎわいが生まれる（観光、歴史）

- (1) 交流を生むまちの魅力づくり【交流】 / (2) 観光振興と情報発信【観光】
- (3) 歴史・伝統の継承と発信【歴史】

方針2 まちに活力が生まれる（産業、雇用）

- (1) 農業の振興【農業】 / (2) 林業の振興【林業】
- (3) 水産漁業の振興【水産業】 / (4) 商工業の振興【商工業】

方針3 豊かな自然を次代につなげる（自然環境）

- (1) 自然環境の保全【環境】 / (2) 美しい景観の継承【景観】
- (3) 水を大切にする暮らしの維持【上下水道】





海陽町